

令和6年度 第3回多治見市文化財審議会

開催日時 令和7年3月21日（金） 午後1時30分～15時30分

開催場所 多治見市役所 駅北庁舎4階 第2会議室

出席委員 深谷滋浩 加藤桂子 小木曾郁夫 立花昭 長谷川幸生
黒田正直 福島金治 春日美海 長瀬治義 高山信秋

事務局出席者	多治見市教育委員会	教育長	仙石浩之
	文化財保護センター	所長	山本元太郎
	〃	副所長	加藤昌平
	〃	主査 学芸員	岩井美和
	〃	学芸員	三輪由美

（進行内容）

1. 開会のことば
2. 教育長挨拶
3. 会長挨拶
4. 議事録署名者の決定
5. 議 事

【審議事項】

指定文化財の指定解除について（平野のケヤキ）

【報告事項】

ア 指定文化財について

①市有形文化財「大日如来坐像」修理事業について

②カワニナ生息数調査の結果について

イ 池田城跡について

ウ カモシカ保護業務の所管変更について

エ 埋蔵文化財について

①問い合わせ、試掘状況

②令和6年度整理作業、報告書作成状況

③その他

オ 普及啓発について

①これまでの企画展について

②令和6年度（後期）企画展について

③令和7年度（前期）企画展について

カ 地域や学校との連携について

キ 文化財解説看板の設置について

ク 寄付資料について

ケ 資料収集について

①民具資料の収集と活用について

②写真等貸出・掲載について

6. その他

(1) 次回の文化財審議会の日程について

(2) その他

〔議事録〕

4、議事録署名者の決定

(事務局) 長谷川委員と立花委員にお願いしたい。

(全委員) 異議なし

5、議事

【審議事項】指定文化財の指定解除について（平野のケヤキ）

(事務局説明)

多治見市記念物（天然記念物）平野のケヤキについて、令和6年11月13日（水）、文化財保護巡視員から多治見市文化財保護センターへ倒壊した旨の連絡が入った。令和6年11月14日（木）、多治見市文化財保護センターが倒壊を確認した。令和6年11月19日（火）、所有者とともに多治見市文化財保護センターが倒壊を確認した。倒壊の状況は、根元から折れ、傾斜地の下側に向かって倒れていた。幹の腐敗が進み空洞化したこと及び傾斜地という地盤に生育していたことから重心が不安定な状態にあり、強風などの要因により倒壊したと考えられる。

所有者から令和6年12月12日付けで滅失届が提出された。これを受けて令和7年1月30日付けで多治見市教育委員会より「平野のケヤキ」の指定文化財解除の諮問書が提出された。

(会長) 資料の写真の方では葉の茂っている様子が見て取れる。これは令和6年に撮った写真で、実は倒れた木にもちゃんときれいな葉がついていた。折れた断面を見ると腐ってしまっているが、見た目では元気な木であった。今回一気に倒れてしまい驚いている。現状は倒れた場所が谷間で、民家などもないため、倒れたままで置いておくことにしている。

このようなことで、文化財解除が適当ではないかと考えるが、何か意見はあるか。

(全委員) 異議なし。

ア 指定文化財について

①市有形文化財「大日如来坐像」修理事業について

(事務局から報告)

(委員より) 公開を検討してほしい。

②カワニナ生息数調査の結果について

(事務局より報告)

(委員より) 近年ゲンジボタルの発生が早くなっているため、来年度は5月の内にゲンジボタルの調査を行うとよい。

イ 池田城跡について

(事務局より説明)

(委員より) 宝篋印塔などの石造物についても、池田城の関連資料として考えてほしい。

ウ カモシカ保護業務の所管変更について

(事務局説明)

エ 埋蔵文化財について

(事務局説明)

オ 普及啓発について

(事務局説明)

(会長) 以上で文化財審議会を終了する。

15 時 35 分 閉会

